

食生活

従業員食堂における

改善事例Ⅱ



農林水産省「にっぽん食育推進事業」
野菜等健康食生活協議会
[財団法人 食生活情報サービスセンター]

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町7-14 岡島ビル
TEL 03-3665-0291 FAX 03-3665-0294
平成21年3月

目次

はじめに ～ 事例集作成のねらい	1
従業員食堂における野菜摂取推進活動について	2
企業食堂での食生活改善活動の取組状況 ～アンケート結果から～	6
改善事例一覧 ～ステップごとの主な取り組み内容～	7

従業員食堂における取組事例

事例 1 アルパイン（株）	8
事例 2 （株）カスミ	10
事例 3 （株）ベネッセコーポレーション	12
事例 4 （株）堀場製作所	14
事例 5 （株）阪急阪神百貨店	16
事例 6 建設資材製造メーカー	18



参考資料

食事バランスガイドを活用しましょう！

情報紹介

◎はじめに ～ 事例集作成のねらい

近年、20～40歳代の働き盛り世代を中心に野菜の摂取量の不足傾向が続いており、生活習慣病予防の観点から野菜摂取を中心とする食生活改善が重要になっています。

一方で、従業員等の食生活改善には企業の医療費負担を減らすメリットがあるといわれています。既に一部の企業では、従業員食堂等において野菜摂取等による食生活改善活動（企業ウェルネスキャンペーン）に取り組まれており、その積極的な展開が期待される処であります。

そこで、これらの活動に先進的に取り組まれている企業の優良事例を紹介することを目的として19年度に引き続き事例集を作成しました。

本書が、今後従業員食堂等において野菜摂取等による食生活改善活動に取り組まれる皆様の参考になれば幸いです。

現
状

20年度から40歳以上の健康診断及び事後指導が健康保険組合に義務付け。

20～40歳代の成人を中心に野菜摂取目標量（1日350g）に届いていない状況。

一方、野菜摂取等による食生活改善活動に取り組む企業は少ない。

野菜摂取推進活動の手引き



野菜摂取など食生活改善事例の紹介



野菜摂取による従業員の健康づくり企業が増加

何から始めたら良いのでしょうか？

医療制度改革の動向を踏まえつつ、まずは既存の枠組みや組織を有効活用するなど、できることから始めることが重要です。その一つが食生活改善を行う上では最も自然な場所である「従業員食堂」です。

